

◆ いきがい交流センターしみず 令和3年度 事業報告 ◆

◇概要◇

- 設置主体 松山市
- 運営主体 松山市社会福祉協議会
- 協力団体 清水地区社会福祉協議会、清水地区民生児童委員協議会
- 目的 小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消および心身機能の維持向上を図るための地域交流事業や講座等を実施し、高齢者福祉の向上に資する。
また、福祉、教育関係機関等との連携を図り、松山市民、特に清水地区を中心とした城北エリアに居住、活動する人々の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び相互扶助実践を通して、福祉・学習コミュニティの形成と融合推進の地域福祉拠点とする。

◇事業内容◇

地域交流事業「友遊しみず」

本来ならば、高齢者が週2回程度、日中、創作活動等を通して生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げ、また、脳トレゲームや体操、健康講座等により心身機能の維持向上を図るとともに、清水小学校児童との交流授業や昼食交流にて異世代間交流を行い、相互への思いやりを深めるものであるが、コロナ禍のため約6ヶ月休止となり、活動も利用者を半数にして短時間の開催となった。

- 対象者 市内在住の介護保険サービスを利用していない概ね65歳以上の方
- 開催日時 月・木曜日の9時～10時・11時～12時（祝祭日・年末年始を除く）
※ただし、コロナ感染拡大時は休止、90回中45回開催
- 内容 健康チェック、ストレッチ体操、レクリエーション・ゲーム、脳トレ、創作活動、俳句、絵手紙、健康講和 ※休止期間中は電話での安否確認や脳トレ資料等送付
- 運営スタッフ 活動援助員(1人)、看護師(1人)、介助員(4人)、協力会員(22人)
※介助員は協力会員の中から選出され交代制。飲食中止、短時間開催のため協力会員は1名のみ活動。
- 登録利用者数 18人（男性2人、女性16人）
- 平均年齢 84.4歳
- 延利用者数 644人（1回の平均利用者数 14.3人）



創作活動



1年生へ七夕飾りを



誕生日祝い（サポートボランティア参加）

地域交流事業「交流授業」 清水小学校児童との交流授業

小学校との複合施設であるという特徴を生かし、児童と「友遊しみず」の利用者や地区社協関係者、地域住民、しみずサポートボランティア(大学生等)との異世代間交流を毎年実施している。昨年度に続き、今年度もコロナ禍のため、各学年の年間指導計画に基づく話し合いの後、随時調整を図りながら感染対策を万全にとって短時間の交流を実施した。

- 交流回数 授業・休憩時間(21回)、学校行事(0回)、昼食・昼休み時間(0回)
- 延べ人数 1,345人(児童 1,276人、教職員 69人)
- 内 容
1年生:休憩時間等を利用し、ウォークスルー方式でのプレゼントを実施
2年生:児童の町探検クイズやダンスの発表、一緒にダンスで交流
3年生:ふれあい教室(絵手紙)の受講生が講師となり絵手紙を作成
4年生:ふれあい教室(書道)の講師・受講生が書初めを指導
5年生:高齢者疑似体験の各コーナーで友遊しみず利用者・地区社協が協力
6年生:クラス単位で利用者も半数に分かれての交流



1年生「スマイル
ストラップをプレゼント」



2年生「ダンスや町探検
クイズで交流」



3年生「名人に学ぼう(絵手紙)」



4年生「書写 書初め
(書道教室)による指導」



5年生「やさしい町清水
高齢者の疑似体験」



6年生「最後の交流会」

地域交流事業「地域交流イベント」 清水小ふれあいバザーへの参加【中止】

児童やその家族、地域住民との交流イベントに参加協力し、福祉観の醸成と地域コミュニティの育成を図ることを目的に、清水小学校PTA主催にて開催するものであるが、コロナ禍のため昨年度に続き中止となった。

いきいき未来学事業 シニアライフ講座／終活のススメ講座

●シニアライフ講座【9回講座】

高齢者の生活に役立つ、福祉や生活の情報などを提供することにより、高齢者やその家族が安心して暮らせる環境づくりを目的に実施した。コロナ禍で、定員を20名から9名に減しての実施となったが、回を重ねるごとに受講者間の交流も図れ、第8回「人生の振り返り」で新たに取り入れた、ラジオ収録形式で講師(パーソナリティー)がその人の人生を紐解いていき、実際に音源をお渡しすることもできて、参加者より印象に残る内容だったと好評を得た。

□講 師 各種専門機関、専門家、NPO活動者など

□内 容

- ①住み慣れた地域でずっと暮らしたい
- ②介護保険で未来をデザイン
- ③ストップ！詐欺被害
- ④知って安心！成年後見制度
- ⑤財産管理と遺言
- ⑥みんなで学ぼう認知症
- ⑦介護者のストレスケア
- ⑧終活1 ～人生の振り返り～
- ⑨終活2 ～エンディングノートの作り方～



シニアライフ講座 (第1回)

□対 象 者 市内在住の60歳以上の方や講座テーマに関心があり、全日程受講可能な方

□受講者数 9人(男性2人・女性7人)

□延受講者数 74人

●終活のススメ講座【4回講座】

人生の終焉を自分らしく迎えるため、自身の経験や思いを形にして、家族など次世代の人たちに伝えていくことを目的に実施計画を立て、定員を15名から9名に減して参加者を募集。受講決定通知も送付し、第1回目を迎える段階で、オミクロン株の感染拡大のため、やむを得ず中止とした。

しみずサポートボランティアの活動

若者のボランティアが児童に寄り添い、児童と「しみず」を利用する高齢者との橋渡しの役割を担っているサポートボランティアであるが、新たに高校生のメンバーが加わり活動に活気がでていた。

昼休みの見守りでは、児童等の自己紹介を「青空を背景に咲いている花」をモチーフとした掲示物の作成に新規に取り組んだ。

また、「やさしさボランティアリーダー」のプレゼント作り、花壇活動、清水小との交流授業への協力に積極的に取り組んでいた。

しかしながら、コロナ禍が長期化する中、大学生の課外活動が自粛となったため、対面での活動ができない期間は毎月のミーティング等リモート開催となった。

□登録者数 15人（高校生5人、大学生7人、社会人3人）

□活動日数 84日

□延べ活動者数 216人



昼休みの交流



花壇活動（フェーリップ球根植え）

ふれあい教室

清水地区及び近隣在住の60歳以上の方を対象に、「コーラス」「太極拳」「フラダンス」「絵手紙」「茶道」「英会話」「カラオケ」「書道」「フォークダンス」の9教室が、技能向上だけでなく、ふれあいや親睦を深めながら、地域住民同士の助け合いにもつながる活動を続けていたが、長期間活動ができなくなっていた「カラオケ」教室は廃止。また、「夏休みわくわく企画」は中止となったが、3年生対象の「清水の名人に学ぼう」は絵手紙のみ実施、太極拳は活動の様子を動画に撮り、児童に見てもらったのち交流を予定していたが、オミクロン株の感染拡大のため、中止となった。

□開催回数 19回

□延べ人数 180人（男性17人、女性163人）



清水の名人に学ぼう
（絵手紙教室）



書道教室 作品展示

清水地区社会福祉協議会との連携

当センターのコミュニティルームには、清水地区社会福祉協議会の事務局が設置されており、日常業務やミーティングなど地区社協による地域福祉活動の拠点となっている。

また、当センターのコーディネートにより、地区社協の執行役員を中心に、清水小5年生の総合的な学習の時間「やさしい町 清水」での福祉体験学習に協力をした。

6年生の卒業リボンの製作では、協力会員を中心に「水引のあわじ結び」やリボンの部品作りに14名の協力があり、児童・教員・市社協・地区社協の連携で世界に一つだけの卒業リボンが完成し、卒業生の胸元を彩った。

なお、当センターコミュニティ花壇の花苗・球根の購入にあたっては、地区社協関係者の募金によるところが大きい。



5年生福祉体験学習「高齢者疑似体験」



卒業リボンの製作

トーンチャイムボランティアの活動

平成24年に清水地区の協力会員を中心にトーンチャイムボランティアグループ『SKB80 チームK&チームB』が結成され、清水地区社協に承認された。

例年ならば月4～5回自主練習を行い、市内のグループホームや施設のデイサービス、サロン等でトーンチャイム演奏等のボランティア活動を実施しているが、コロナ禍で施設側の受け入れができない上、当センターでも会場使用の制限があったため、数回の練習のみの活動となり、施設等での演奏活動はできなかった。

□参加者 4～5人 / 延べ人数 0人

□活動実績 0件

(福祉関係施設 0件、その他 0件)

□練習回数 7回 / 延べ人数 35人

松山市地域包括支援センター味酒・清水との連携

当センター1階には、松山市地域包括支援センター味酒・清水があり、健康づくり・介護予防のための講座や研修会等、高齢者へ学習等の機会・情報を提供している。さらに、当センターで実施している地域交流事業「友遊しみず」の新規利用者を紹介いただいたり、利用者やその家族からの介護相談に応じてもらったりしている。また、市社協主催の講座講師として協力をいただくなど、継続して連携を図ることにより、地域福祉の拠点として充実した。

なお、コロナ禍における緊急のケース会議の際は、参加人数によっては包括支援センターの会議室が手狭なため、当センターの会場を利用した。

令和 3 年度 いきがい交流センターしみず 利用者数

事業名	延人数(人)
地域交流事業「友遊しみず」〈約6ヶ月間休止〉	644
清水小学校児童との交流事業等(授業 21件・行事 0件) ※授業協力及び短時間交流	1,345
地域交流イベント(清水小ふれあいバザー参加)〈中止〉	0
清水小学校児童との昼食時間と昼休みの交流〈昼食交流は中止〉 (昼食交流 0人、昼休み 660人)	660
しみずサポートボランティアの活動(114件)〈縮小〉	216
シニアライフ講座 9回〈定員削減〉 終活のススメ講座〈中止〉	74
ふれあい教室〈約9ヶ月間休止〉	414
トーンチャイムボランティアの活動〈約9ヶ月間休止〉	0
清水地区社協会議等	237
清水地区社協役員等による業務	250
清水地区社協教室部会・ちくたく業務等	174
第19回しみず祭〈中止〉	0
視察(0件)、実習(0件)、取材(4件)	5
合計	4,019

※特に、オミクロン株特別警戒期間は、全事業において活動が中止・休止となり、利用者数が大幅に減少した。